

問題41 関節可動域測定(日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会基準による)の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 肩関節水平屈曲——135°
2. 肘関節屈曲——120°
3. 手関節尺屈——25°
4. 股関節外転——45°
5. 足関節背屈——45°

問題42 Daniels らの徒手筋力テストを仰臥位で行うのはどれか。2つ選べ。

1. 前鋸筋 段階 1 (Trace)
2. 大胸筋 段階 5 (Normal)
3. 中殿筋 段階 2 (Poor)
4. 後脛骨筋 段階 4 (Good)
5. 腓腹筋 段階 3 (Fair)

問題43 手の機能解剖で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 手関節は背屈時に尺屈する。
2. 環指 MP 関節は伸展時に外転する。
3. 短母指外転筋は母指 IP 関節を伸展する。
4. 小指外転筋は MP 関節を伸展する。
5. 外在筋は手の横アーチを支持する。

問題44 感覚検査法の組合せで適切でないのはどれか。

1. 痛 覚——つま楊子で皮膚を刺激し、痛みの有無を聞く。
2. 触 覚——ティッシュペーパーで皮膚に触れ、分かるか否かを聞く。
3. 動的二点識別——ノギスで皮膚上に描いた数字や文字が何かを聞く。
4. 深部圧痛覚——アキレス腱をつまんで痛みの有無を聞く。
5. 立体覚——片手に物品を握らせてそれが何であるか言わせる。

問題45 反射の消失時期と可能となる姿勢・運動の組合せで適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 緊張性迷路反射消失———腹臥位での前腕支持
2. モロー反射消失———寝返り
3. 非対称性緊張性頸反射消失———背臥位での頭部挙上
4. 対称性緊張性頸反射消失———四つ這い
5. 足の把握反射消失———つかまり立ち

問題46 遠城寺式乳幼児分析的発達検査表において「積み木を2つ重ねる」ことができる発達段階にある子どもでも困難な可能性のある動作は何か。

1. コップを自分で持って飲む。
2. さじで食べようとする。
3. お菓子の包み紙を取って食べる。
4. 口元を自分でふこうとする。
5. ストローで飲む。

問題47 上肢の回内回外試験で評価するのはどれか。

1. 企図振戦
2. 測定障害
3. 運動分解
4. 協働収縮異常
5. 反復拮抗運動障害

問題48 高齢障害者に対する作業療法評価法として適切なのはどれか。2つ選べ。

1. Motor Age Test
2. Wee-FIM
3. Geriatric Depression Scale
4. Mini-Mental State Examination
5. Southern California Sensory Integration Test

問題49 FIM で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 理解 6 点——大きな声であれば複雑な内容も理解できる。
2. 表出 3 点——単語とジェスチャーで欲求を伝える。
3. 階段 7 点——義足を用いて手すりなしで昇降している。
4. 浴槽移乗 3 点——片足の出し入れだけを介助してもらう。
5. 更衣下半身 5 点——下肢装具の脱着のみを手伝ってもらう。

問題50 脳出血発症 2 週時点の合併症で頻度が低いのはどれか。

1. 誤嚥性肺炎
2. けいれん
3. 肩手症候群
4. 深部静脈血栓症
5. せん妄

問題51 視床出血で生じやすい症状はどれか。2つ選べ。

1. 失調
2. 失書
3. 把握反射
4. 異常感覚
5. 肢節運動失行

問題52 片麻痺者の非利き手に対する書字訓練で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 肩や肘を使って書くようにする。
2. 図形の塗りつぶしや塗り絵から導入する。
3. 筆記具を保持した手の尺側は机上につけておく。
4. 麻痺側上肢は同側の膝に載せておく。
5. 太柄や手装具にペンを固定した自助具を利用する。

問題53 関節リウマチの作業療法で適切でないのはどれか。

1. 低負荷の運動を行う。
2. 筋力強化には等張性収縮を利用する。
3. プログラムは日内変動に応じて遂行する。
4. 日常生活指導は対象者と家族に実施する。
5. 痛みのある時にはスプリントで安静を保つ。

問題54 外傷性脳損傷の前頭葉症状で頻度が低いのはどれか。

1. 記憶障害
2. 人格変化
3. 遂行機能障害
4. 注意力低下
5. 半側空間無視

問題55 脊髄損傷の機能残存レベルと可能な動作の組合せで適切なのはどれか。2つ選べ。

1. C4 ———— コックアップ・スプリントを装着して電動車椅子操作
2. C5 ———— 電動ベッド上でのズボンの着脱
3. C6 ———— 手すりを使用した寝返り
4. C7 ———— トランスファーボードを使用した車への移乗
5. C8 ———— プッシュアップ台を使用した床から車椅子への移乗

問題56 骨折の合併症で正しいのはどれか。

1. 肋骨骨折後に奇異呼吸がみられたら肺炎を疑う。
2. Monteggia 骨折後の橈骨神経麻痺は感覚障害を伴う。
3. 舟状骨骨折後の偽関節にはギプスによる保存療法を行う。
4. 上腕骨外顆骨折後の内反肘は遅発性尺骨神経麻痺の原因となる。
5. 橈骨遠位端骨折後の伸筋腱断裂はリスター結節部で起こりやすい。

問題57 弾発指(ばね指)で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 母指に生じることがまれである。
2. PIP 関節の屈曲時に弾発を生じる。
3. 指屈筋腱の狭窄性腱鞘炎が原因である。
4. 過剰な使用や関節リウマチに合併しやすい。
5. スプリントを用いて手指を屈曲位に固定する。

問題58 関節リウマチ患者の生活指導で適切でないのはどれか。

1. 便座は高めに設定する。
2. 炊事には片手鍋を使用する。
3. 水道の蛇口はレバー式にする。
4. ボトルオープナーで蓋を開ける。
5. 電動プロセッサで野菜を刻む。

問題59 障害されると翼状肩甲を呈する神経はどれか。2つ選べ。

1. 外側胸筋神経
2. 肩甲下神経
3. 肩甲上神経
4. 肩甲背神経
5. 長胸神経

問題60 正しい組合せはどれか。

1. 母指対立運動不能———橈骨神経麻痺
2. 手指内転不能———正中神経麻痺
3. Froment 徴候陽性———正中神経麻痺
4. 母指球筋萎縮———尺骨神経麻痺
5. 母指橈側外転不能———橈骨神経麻痺

問題61 上腕義手使用者の訓練で適切でないのはどれか。

1. 肩甲帯の可動域訓練を行う。
2. つまみ動作は硬い物から軟らかい物へと進める。
3. 肘ロックを解除して手先を開閉する練習を行う。
4. 応用訓練として革細工や折り紙などの両手動作を行う。
5. 切断肢が利き手の場合、非利き手での書字訓練を行う。

問題62 手指屈筋腱縫合術後の作業療法で導入する時期が最も遅いのはどれか。

1. PIP・DIP 関節の他動屈曲
2. MP 関節と PIP・DIP 関節の他動伸展
3. MP 関節伸展位固定で PIP・DIP 関節の自動屈曲
4. MP 関節屈曲位固定で PIP・DIP 関節の他動伸展
5. MP 関節屈曲位固定で PIP・DIP 関節の他動屈曲

問題63 Yahr の重症度分類の組合せで正しいのはどれか。2 つ選べ。

1. Stage I ———— 両側の障害だが機能障害は軽度
2. Stage II ———— 姿勢保持の障害はないが ADL は不便
3. Stage III ———— 立ち直り反射の障害がみられ ADL に介助が必要
4. Stage IV ———— ADL の介助は重度となり就労は困難
5. Stage V ———— On-off 現象を認めるが、立ち上がることが支えなしで可能

問題64 Duchenne(デュシェンヌ)型筋ジストロフィーで最も早くから障害されるのはどれか。

1. 虫様筋
2. 頭板状筋
3. 縫工筋
4. 胸鎖乳突筋
5. 下腿三頭筋

問題65 Duchenne(デュシェンヌ)型筋ジストロフィーのステージ7(厚生省筋萎縮症研究班の機能障害度分類による)で可能なのはどれか。2つ選べ。

1. 電動鋸を用いた木工
2. ペーパークラフト
3. マクラメ
4. 陶芸のたま作り
5. 板金打ち出し

問題66 筋萎縮性側索硬化症について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 褥瘡が生じやすい。
2. 嚥下障害が起こる。
3. 筋萎縮は近位に強い。
4. 四肢遠位の感覚障害が強い。
5. 眼球運動は末期まで維持される。

問題67 多発性硬化症の症状で頻度が低いのはどれか。

1. 視力障害
2. 深部感覚障害
3. 多幸症
4. 失語症
5. 神経因性膀胱

問題68 糖尿病の運動療法で適切でないのはどれか。

1. 2週に1回の頻度
2. 食事1～2時間後に開始
3. 1回20分程度で2、3セットで実施
4. 最大酸素摂取量の40～60%の運動
5. 食事療法と併用

問題69 動作と運動強度の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 食 事————— 1～2 METs
2. ふとんを敷く————— 2～3 METs
3. モップでの床ふき————— 3～4 METs
4. 窓ふき————— 4～5 METs
5. 階段昇降————— 5～6 METs

問題70 在宅酸素療法中の患者にとって自宅内の活動で血中の酸素飽和度が下がりにくいのはどれか。

1. 和式便器での排便
2. かぶりシャツの着脱
3. 自力での洗体
4. 自力での洗髪
5. 臍までの半身浴

問題71 運動学習の効率について正しいのはどれか。

1. 練習動作の難易度は低いほどよい。
2. フィードバックは多いほどよい。
3. 覚醒度は高いほどよい。
4. 休憩は多いほどよい。
5. 練習動作は基準課題に似ているほどよい。

問題72 各作業における段階付けと目標機能との組合せで適切なのはどれか。2つ選べ。

1. ビーズ細工のビーズの大きさ————— 手指巧緻性
2. マクラメの糸の太さ————— 手指筋力
3. 織物の模様複雑さ————— 注意機能
4. 革細工の革の厚さ————— 視覚運動協応
5. ぬり絵の色の多さ————— 構成能力



問題73 パラフィン療法で正しいのはどれか。

- ア. パラフィンは比熱が大きい。
- イ. パラフィンは引火性である。
- ウ. 温度を 55～60℃ に設定する。
- エ. 身体の深部温度上昇効果が高い。
- オ. 肩・膝など近位部には使用できない。

1. ア、イ      2. ア、オ      3. イ、ウ      4. ウ、エ      5. エ、オ

問題74 治療的な電気刺激の目的で適切でないのはどれか。

- 1. 廃用による筋力低下の予防
- 2. 脱神経筋における神経終末の発芽促進
- 3. 末梢神経損傷による疼痛の軽減
- 4. 脳卒中による痙縮の軽減
- 5. 不動に伴う浮腫の軽減

問題75 作業療法室における感染予防で適切でないのはどれか。

- 1. 部屋は十分に乾燥させる。
- 2. 洗面台には足踏み式給水栓を設置する。
- 3. 手は患者の治療ごとに洗う。
- 4. 手は石鹸を用い流水で 20 秒程度洗う。
- 5. 手洗い後は紙タオルでふく。

問題76 理学療法士及び作業療法士法で誤っているのはどれか。

- 1. 昭和 40 年に制定された。
- 2. 守秘義務は退職後も継続する。
- 3. 外国籍の者も免許を取得できる。
- 4. 免許を紛失した場合再交付を申請できる。
- 5. 都道府県知事は免許を取り消すことができる。